

鹿児島県霧島市で応急給水活動を実施しました

この度の大雨により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

当企業団は、日本水道協会九州地方支部より給水車派遣の応援要請があったため、大雨により断水被害を生じた鹿児島県霧島市へ職員4名、給水車・支援車各1台を派遣し、応急給水活動に従事しました。

派遣概要

派遣期間	令和7年8月9日（土曜日）～令和7年8月11日（月曜日）
派遣人員	4名（給水車・支援車各1台）
派遣場所	鹿児島県霧島市
活動内容	商業施設や病院での応急給水活動

応急給水活動等の様子



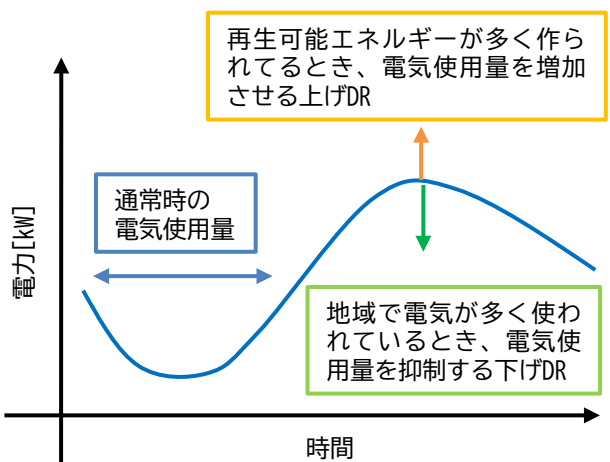
<荒木浄水場は「デマンドレスポンス(DR)」に参加しています>

デマンドレスポンスとは？

電気の需要と供給のバランスを整えるために、電力会社などからの要請により、電気の使用者が一時的に電気の使用量を上げたり(上げDR)下げたり(下げDR)調整する取り組みです。当企業団は、地域の電力需要がひっ迫した際に、電気使用量を抑制する下げDRに参加しています。ピーク負荷の低減に寄与することで、安定した電力供給に貢献しています。また、予め設定した電力量の削減目標に対する達成度に応じて、報酬を受け取ることができます。

荒木浄水場の取り組み

- 荒木浄水場では、下記の要領でデマンドレスポンスに取り組めます。
- ・実施期間：令和7年度～令和11年度
 - ・実施回数：年間で最大12回
(要請に基づく)
 - ・抑制規模：1時間あたり600kW
(1回3時間の削減)
 - ・抑制方法：取水・送水ポンプの出力調整



<省エネルギー設備（RB式フラッシュミキサー）を導入しました>

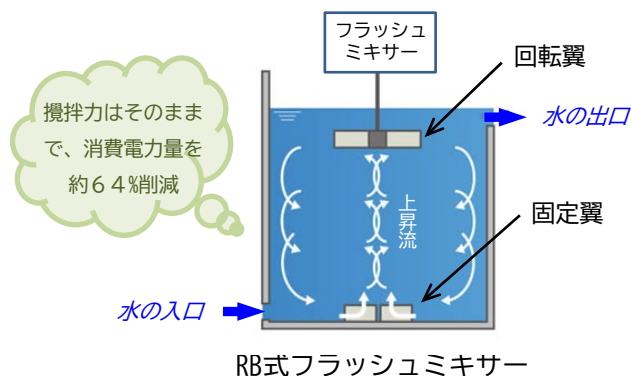
当企業団では、地球温暖化対策実行計画等に基づくCO₂排出量削減の取組として、設備更新時における省エネルギー仕様の採用を掲げています。その取組の1つとして、老朽化に伴い故障が頻発していた急速混和池のフラッシュミキサー（水と薬品を均一に混合させる攪拌機）を、環境省の補助を活用して、省電力化が期待できるRB（Radial Blade）式フラッシュミキサーに更新しました。この設備は、池の底面に設置する4枚の固定翼と、上層部の回転翼により竜巻状の旋回上昇流を発生させることで、攪拌力を維持したまま動力を抑えることができます。

この設備の導入により、水処理の効果を損なうことなく、消費電力量を従来に比べて約64%削減することができました。

今後も設備の更新にあたっては、積極的に省エネルギー設備の導入に努めていきます。



急速混和池のフラッシュミキサー（更新後）



<環境啓発活動に参加しました>

矢部川・有明海での清掃活動

5月25日に「矢部川一斉清掃」、8月20日に「有明海クリーンアップ作戦」が開催されました。毎年実施されているこの活動では、矢部川や有明海の水の豊かさを守るため、地元の漁業関係者を中心に、国や県の関係機関、市、町などから多くの方々が参加し、河川敷や河口域の清掃作業を行います。当企業団も毎年この活動に参加しており、今後も水資源保全のため、積極的に参加していきます。



矢部川での清掃活動



有明海（久間田漁港）での清掃活動

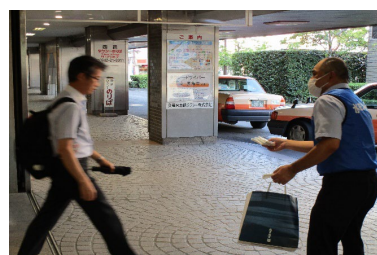


クリーンアップ作戦で回収したゴミ

「水の日」及び「水の週間」街頭キャンペーン

毎年、8月1日は「水の日」、8月1日～7日は「水の週間」です。この期間に、水の大切さについての理解と関心を深めていただくことを目的として、様々な啓発行事が実施されます。

企業団でも、8月1日に西鉄久留米駅で開催された節水PR街頭キャンペーンに参加しました。このキャンペーンでは、福岡県、水資源機構筑後川局、久留米市企業局と一緒に、地域の方々に「水の大切さ」を呼びかけ、ミニハンカチなどを配布しました。



西鉄久留米駅でハンカチなどを配布

<三企業団協議会の事務部会で小石原川ダムを視察しました>

筑後川流域の3企業団（福岡地区水道企業団、佐賀東部水道企業団、福岡県南広域水道企業団）で構成する筑後川水道三企業団協議会の事務部会で令和7年7月29日に小石原川ダムの視察を行いました。

小石原川ダムでは、ダムの概要はもとより、水源の安定化と水運用の効率化を目的とした3ダム（江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム）の総合的な運用について、また、洪水調整機能増強を目的とした寺内ダム再生事業の概要について説明を受けました。

この視察により、当企業団の水源について理解を深めました。



小石原川ダム等についての概要説明



ダムカード型フレームを用いた写真



小石原川ダムのダム湖（令和あさくら湖）

<令和6年度水質検査結果>

当企業団では、毎月すべての構成団体の配水場で水質検査を行うことにより、水道水の安全性を確認しています。下の表には令和6年度の検査結果の一部を掲載しています。すべての項目において水質基準を満たしていました。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.sfwater.or.jp/jyouthoukoukai/anzen/keikaku-kekka.html>

福岡県南 水質検査結果

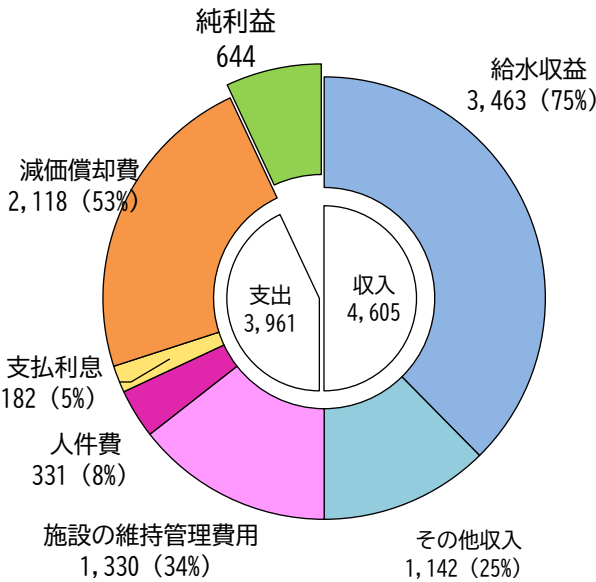
検索

区分	水 質 基 準 項 目		水 質 基 準	令和6年度 配水場 最高値	水質基準値に対する 配水場最高値の割合(%)					
					0	20	40	60	80	100
病原生物	基準1	一般細菌	100/ml以下	18/ml						
	基準2	大腸菌	検出されないこと	不検出						
重金属	基準6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001mg/L未滿						
	基準7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.002mg/L						
消毒副生成物	基準27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.038mg/L						
着色	基準33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.05mg/L						
	基準34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.02mg/L						
	基準37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	0.001mg/L未滿						
味覚	基準39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	57mg/L						
におい	基準42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.000002mg/L						
	基準43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.000002mg/L						
基礎的性状	基準47	pH値	5.8-8.6	7.8						
	基準48	味	異常でないこと	異常なし						
	基準49	臭気	異常でないこと	異常なし						
	基準50	色度	5度以下	0.6度						
	基準51	濁度	2度以下	0.3度						

令和6年度決算概要

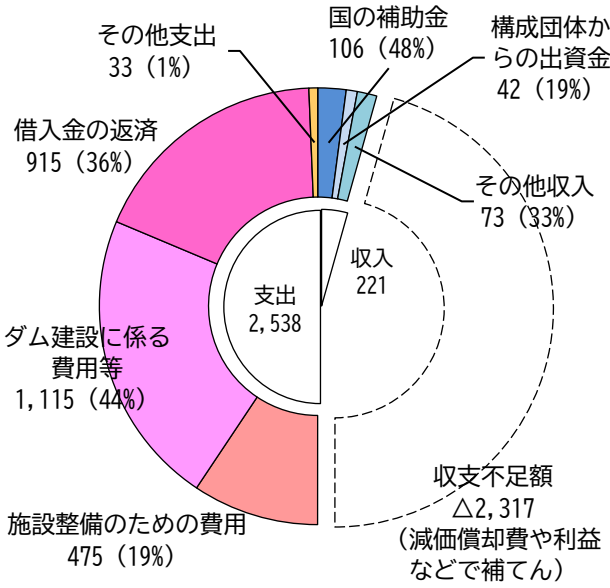
収益的収入および支出
＜水道水の供給に要する収入・支出＞

(消費税抜き 単位:百万円)



資本的収入および支出
＜水道施設の整備や借入金の返済などに要する収入・支出＞

(消費税込み 単位:百万円)



構成団体への供給水量 (8市3町1企業団)

項目	令和6年度
年間総供給水量	37,189,474m³
一日平均供給水量	101,889m³
一日最大供給水量	112,317m³

主な事業

- 管理本館付帯設備ZEB化改修事業
○管理本館のZEB化に伴う工事
- 第二期水道施設耐震化事業
○水道施設の耐震化に伴う工事及び設計業務委託
- 設備・機器の計画的更新
○送水施設の電気機械設備の更新
○水質検査機器等の更新

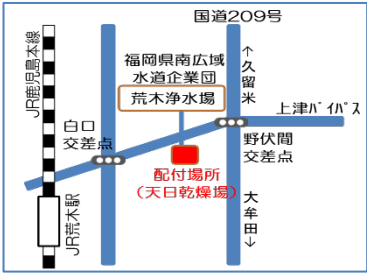
＜浄水ケーキの配付＞

浄水ケーキは、荒木浄水場で水道水をつくるときにできる土で、野菜や花づくりなどに利用できます。

天日乾燥場までお越しいただければ、ばら荷（トラックなどへの積み込み）または袋詰め（すくすく、土嚢袋）のいずれかの方法で受け取ることができます。（問い合わせ先：浄水管理課）

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.sfwater.or.jp/sukusuku/entry-252.html>



「企業団ニュースレター」に関するご意見、ご要望は下記へご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先】

福岡県南広域水道企業団 総務部 企画財政課

TEL：0942-27-1561 FAX：0942-27-1795

E-Mail：kikaku@sfwater.or.jp

ホームページ：<https://www.sfwater.or.jp>

